

「いろいろな人が意見を出し合えて、
参加できる人輝くまち」

人・地域

- ★女性や若い世代、新しく三次に来た人の意見が反映されやすい仕組みをつくる
- ★広く意見をきき、正しく伝えることのできる市民を増やす
- ・市民と行政職員が気軽に意見を交換できる場をつくる
- ★客観的な視野をもつ、専門的人材やリーダーを育成する
- ・自治連合会へのサポートを強化する
- ★女性のステップアップにつながる事業を実施する
- ★地域の絆を深める取組を行う
- ・中高大学で地域づくりの授業を行い、地域愛を育む
- ★出前講座を活用し、各種事業の周知を図る
- ・市民提案事業の復活など、市民の意見が事業に反映できる仕組みをつくる

★：たくさんの実現策のなかで、
私たちができること

「新しい可能性を創造できるまち」

都市・交通

- ・田舎と都会のあいだのまちの存在感を活かす
- ★空き家バンクと農家民泊、農業体験などの連携を図り、移住お試し期間を設定する
- ★所有者へのアプローチ方法を工夫する
- ・重点エリアを定める
- ・大学等との連携や市民による番組づくり・放送など、ピオネットをしっかりと活用し、加入者を増やす
- ・空き店舗を活用した異業種オフィスやインターン制度など、企業を支援する仕組みをつくる
- ・下水道への接続促進のための補助金を充実する

安全・防災

- ★連絡網の整備など、災害時に備えて常会機能を強化する
- ★避難場所の周知など、防災意識を高める取組を進める
- ★企業や女性へ積極的に呼びかけ、消防団員を育成する
- ★地域の絆を深め、安心して生活できる環境をつくる
- ・3.11の教訓を活かし、防災訓練や対策をしっかりと行い、被災地支援ができるまちになる
- ・音声告知放送を活用し、防災情報を迅速に伝達する
- ★コンビニなど民間の協力を仰いで、明るい場所がある安心感をつくる

「思いやりと絆で築くやさしいまち」

- ・JRとバスの接続を良くするなど、利用者が使いやすいダイヤにする
- ・各地域の現状把握・分析をもとに、専門部会などでの議論を深める
- ★公共交通を守るため、利用キャンペーンを実施する
- ・行政・自治連などが連携し、生活交通バス等の充実を図る
- ・高速バスやJRがあることを活かす
- ★公共交通を出来るだけ利用する
- ・可能な限りのバリアフリー化を進める
- ★産直市などを活用し、必要なものを買える場所を確保する
- ・必要に応じて、道路網の整備を進める

「豊かな自然をいかし、
環境保護に取り組むエコのまち」

自然・環境

- ★川水浴場づくりや魚の放流など川に親しめる環境を整える
- ・親水護岸や散策路の整備を行う
- ★自然体験の場を増やし、環境教育を推進する
- ★都市との交流を積極的に推進し、地域へ波及させる
- ・河川の汚濁防止のため、下水道加入や浄化槽設置を促進する
- ・河川内の樹木を適切に管理する
- ★広葉樹林の育成・除間伐など適切な森林管理を行い、同好会や地域が個人を支援する仕組みをつくる
- ・在来種の美しさをPRし、あわせて外来種の増加などの問題点についても情報を発信する

- ・山・川の資源を有効活用し、消費拡大と特産化をめざす
- ・主観的基準ではなく客観的基準を基に三次の環境を活かしたゴールを設定し、自然環境の保護を進める
- ・ゴミの減量に向けた明確な目標設定を行い、広報や出前講座などの啓発活動を行う
- ・生ごみコンポストを普及する
- ・自然エネルギーに対する助成を行う
- ・小水力発電などの自然エネルギーの活用を進める
- ・間伐材の積極的な使用などのモデル事業を実施する
- ★家庭菜園や朝市の取組を進める
- ★地産地消の取組を企業等へも普及させ、誰もが地元の産品を買う意識をもつ